

瑞浪市陶磁資料館年報

第41号
(令和7年度)

－ 目 次 －

展 覧 会	1
体験教室	6
刊 行 物	6
収蔵資料	7
統計資料	8
専門委員	8

令和6～7年度 企画展

染織の美 伊藤恭子展

会 期 R7.3.22[土]-5.11[日]

展示作品 46 点（伊藤恭子氏作品等：41 点、伊藤紗綾氏作品 5 点）

入 館 者 1,804 人（R7 年度（R7.4.1-5.11）の入館者は 205 人）

会 場 加藤孝造展示室・常設展示室（一部）・企画展示コーナー

概 要

伊藤恭子氏は、昭和 42 年に郡上工芸研究所に入所され、国重要無形文化財「紬縞織・絣織」保持者の宗廣力三氏に師事されました。同所卒業後は瑞浪の地に移られて創作活動が続けられ、平成 20 年には日本工芸会正会員、平成 24 年には瑞浪市無形文化財「浮織絣」技術保持者に認定されました。

本展では、氏がこれまでに制作した着物や帯などの作品約 40 点を展示して、その足跡や業績、また染織作品の魅力などを紹介しました。

■出品目録

No.	名 称	制 昨 年	所 蔵	備 考
【会場 1 / 加藤孝造展示室・ホール・常設展示室（一部）】				
1	紬絣織帯「翔」	昭和 55 年（1980）	個人	仕立て帯
2	紬織着物「緑翠」	昭和 43 年（1968）	個人	郡上工芸研究所卒業制作
3	絣織着物「七夕の夜」	平成 2 年（1990）	個人	東海伝統工芸展
4	浮織絣着物「飛游」	平成 15 年（2003）	個人	第 30 回東海伝統工芸展
5	浮織ほぐし絣着物「綿毛萌ゆ」	平成 17 年（2005）	個人	
6	浮織絣着物「コッツウェルズの夕焼」	平成 19 年（2007）	個人	第 41 回日本伝統工芸染織展
7	浮織着物「花暦」	平成 18 年（2006）	個人	第 35 回東海伝統工芸展
8	浮織絣着物「しゃぼん玉飛んだ」	令和 5 年（2023）	個人	第 54 回東海伝統工芸展
9	浮織絣着物「緑蔭」	平成 20 年（2008）	当館	第 39 回東海伝統工芸展
10	浮織絣着物「風花」	平成 14 年（2002）	個人	第 33 回東海伝統工芸展 東海伝統工芸展賞
11	つづれ織タペストリー「夏立つ」	令和 6 年（2024）	個人	
12	つづれ織タペストリー「緑蔭」	令和 6 年（2024）	個人	
13	浮織絣着物「水中花」	令和 4 年（2022）	個人	第 53 回東海伝統工芸展
14	浮織絣着物「移り行くもの」	令和 6 年（2024）	個人	第 55 回東海伝統工芸展
15	つづれ織タペストリー「冬麗」	令和 6 年（2024）	個人	
16	つづれ織タペストリー「朝焼雲」	令和 6 年（2024）	個人	
参	制作工程品	平成 24 年（2012）	個人	構想・デザイン図/整経糸のグループ分け/整経図/完成生地
17	つづれ織タペストリー「春光」	令和 6 年（2024）	個人	
18	よろけ織帯「陽炎」	令和 4 年（2022）	個人	
19	浮織帯「糸遊」	令和 7 年（2025）	個人	
参	ファミリー	平成 17 年（2005）	個人	
参	衝立	平成 27 年（2015）	個人	
20	経絣帯「森の中へ」	平成 17 年（2005）	個人	
協	吉野織帯「花野風」	平成 20 年（2008）	個人	
協	紬織着物「風車」	平成 20 年（2008）	個人	第 55 回日本伝統工芸展
協	吉野織帯「風青し」	平成 19 年（2007）	個人	第 41 回日本伝統工芸染織展
協	吉野織着物「桜若葉」	令和 5 年（2023）	個人	第 70 回日本伝統工芸展
協	吉野織帯「春野」	平成 31 年（2019）	個人	第 50 回東海伝統工芸展 岐阜県知事賞
【会場 2 / 企画展示コーナー】				
21	よろけ織絣着物「冬麗」	令和 4 年（2022）	個人	第 69 回日本伝統工芸展
22	よろけ織着物「銀嶺」	平成 25 年（2013）	個人	第 60 回日本伝統工芸展
23	よろけ織経絣着物「麦秋」	平成 27 年（2015）	個人	第 46 回東海伝統工芸展

24	よろけ織着物「若草」	平成 23 年（2011）	個人	
25	よろけ織絁着物「冬銀河」	平成 26 年（2014）	個人	第 45 回東海伝統工芸展 東海伝統工芸展賞
26	よろけ織着物「滝音」	平成 30 年（2018）	個人	第 65 回日本伝統工芸展
27	よろけ織帯「緑蔭」	平成 27 年（2015）	個人	第 49 回日本伝統工芸染織展
28	よろけ織着物「波遥かⅠ」	令和 3 年（2021）	個人	第 68 回日本伝統工芸展
29	よろけ織着物「風薫る」	平成 24 年（2012）	個人	第 59 回日本伝統工芸展
30	よろけ織絁着物「波遥かⅡ」	令和 6 年（2024）	個人	第 71 回日本伝統工芸展
31	よろけ織帯「朝焼」	平成 30 年（2018）	個人	第 50 回日本伝統工芸染織展
32	よろけ織帯「手毬の歌」	令和 3 年（2021）	個人	第 52 回東海伝統工芸展
33	よろけ織絁着物「蛍火」	令和 5 年（2023）	個人	第 70 回日本伝統工芸展
34	よろけ織帯「秋深し」	平成 31 年（2019）	個人	第 53 回日本伝統工芸染織展
35	よろけ織帯「夏祭り」	令和 2 年（2020）	個人	
36	よろけ織帯「花菖蒲」	平成 25 年（2013）	個人	第 47 回日本伝統工芸染織展
37	よろけ織着物「山桜の咲く頃」	平成 27 年（2015）	当館	第 62 回日本伝統工芸展
38	よろけ織帯「新涼」	平成 28 年（2016）	個人	第 47 回東海伝統工芸展

※No欄の「参」は、制作工程や創作活動の幅広さを示すために参考出品した作品です。

※No欄の「協」は、いずれも瑞浪市出身の伊藤紗綾氏（日本工芸会正会員）が制作した協賛出品作品です。

■関連イベント

ワークショップ「絵織りをしよう」[4/19] …参加者 12 人



展示風景（加藤孝造展示室）



展示風景（企画展示コーナー）



展示風景（常設展示室／協賛出品作品）



ワークショップ

大湫宿 森川家の塩商い

会 期 R7.6.21 日[土]-12.27 日[日]

展示作品 40 点

入 館 者 1,705 人

会 場 企画展示コーナー

概 要

中山道大湫宿(瑞浪市大湫町)の森川家は、宿場維持や物資輸送等の面において重要な役割を果たした商家です。その経済的な基盤となったのが、幕末に尾張藩から許可を得て着手した塩商い(塩の専売)で、これは大湫宿の立地を巧みに生かした経済活動でした。

本展では、塩商いを記録した古文書を中心に、塩の輸送の際に用いた提灯、また森川家の什器等の関連資料を展示し、塩の専売を行った経緯や目的、大湫宿や森川家が果たした役割等を解説します。

なお、本展は6月7日からの開催を予定していましたが、展示室の照明工事に伴い開会時期を変更しました。また、ご好評により期間を延長して開催しました。

■出品目録

No.	名 称	員数	年 代	備 考
【文字資料】				
1	年代重宝記	1 冊	江戸～明治時代	森川清左衛門義有の記録帳
2	覚	1 通	文政 12 年(1829)	森川清助、山村氏に初めての献金 10 両の記録
3	乍恐御請書奉差上候御事	1 通	文政 13 年(1830)	森川清助、質屋株の取得申請書
4	(無題)	1 通	天保 2 年(1831)	森川清助、大湫宿問屋役への任命証
5	一、献金五十五両	1 通	天保 10 年(1839)	山村氏への献金 55 両／『諸事覚』より
6	(無題)	1 通	弘化 3 年(1846)	山村家の借財返済方法／『諸事覚』より
7	書付	1 通	天保 13 年(1842)	山村家による苗字の許可証、弘化 2 年(1845)改
8	書付	1 通	弘化 3 年(1846)	山村家からの四畳半御目見え許可証
9	(無題)	1 通	弘化 3 年(1846)	江戸参府に伴う福島への呼出状
10	(無題)	1 通	弘化 3 年(1846)	江戸参府時の坊主役への任命証
11	『良醇公様江戸参府=付留記』	1 通	弘化 3 年(1846)	山村良醇の江戸参府記録(『参府留記』)
12	御家督=付 殿様御参府御土産調書	1 通	弘化 3 年(1846)	参府時の献上品録／『参府留記』より
13	山王祭礼御観覧	1 通	弘化 3 年(1846)	山王祭の観覧記録／『参府留記』より
14	山村甚兵衛内森川清左衛門 木札	1 枚	弘化 3 年(1846)か	清左衛門を山村家の家臣扱いとした際の木札か
15	『棚於露志帳』	1 冊	天保 6 年(1835)	【塩関連資料】棚卸し帳
16	定	1 通	嘉永 6 年(1853)	【塩関連資料】尾勢塩問屋株仲間の加入証
17	地方御勘定所 提灯	1 張	安政 5 年(1858)	【塩関連資料】尾張藩公用の証
18	『塩店棚おろし帳』	1 冊	慶応 3 年(1867)	【塩関連資料】塩商いの棚卸し帳
19	御書付	1 通	文久元年(1861)	森川清左衛門、千村家二人扶持待遇を命じた記録
20	乍恐奉願上候御事	1 通	文久元年(1861)	酒造株(798 石 9 斗)取得の申請書
21	森川家家相図	1 枚	文久 2 年(1862)	森川家母屋の新築に伴う家相図
22	鉄絵徳利	1 個	明治時代	「大湫 森川酒店」の文字あり
23	覚	1 通	文久 3 年(1863)	山村家へ御用達金 100 両の献金記録
24	(無題)	1 通	文久 3 年(1863)	尾張藩主上洛御用金 200 両の献金記録
25	札金	1 枚	江戸時代	金 2 分 元方 義促
26	札金	1 枚	元治元年(1864)	銭 48 文 森川嘉郎九(義香)
27	札金	1 枚	元治元年(1864)	2 朱 森川嘉郎九(義香)
28	和宮御降嫁札金(束)	一括	元治元年(1864)	和宮降嫁時の札金(418 両 2 分 2 朱)
29	和宮御降嫁札金	1 枚	明治 2 年(1869)頃	和宮降嫁時の札金
30	御借財御切払=付左之通献金	1 通	明治 3 年(1870)	山村氏への借財帳消し／『諸事覚』より
31	木札	1 枚	明治 23 年(1890)	父喜作(清左衛門)米寿を祝いて

【什器等】				
1	燭台	1 対	嘉永 3 年(1850)	共箱に「嘉永三年庚戌 弥生出来 森川氏」銘あり
2	鞍	1 鞍	江戸時代か	貼紙に「□氏秘蔵」の文字あり
3	陣笠	1 蓋	文久 2 年(1862)か	内側に「森川義香」の文字、収納用紙袋に「定紋付 陣笠 キタ森川氏」・「文久二年 戊八月之来 キタ森川氏」の文字あり
4	弁当箱	1 箱	慶応三年(1867)か	「慶応三年卯九月吉日 西森川氏」・「岩井」の文字あり
5	枕・枕箱	1 組	江戸時代か	箱に信濃屋の屋号であるマル川の文字あり
6	膳収納箱	1 箱	文化十年(1814)か	箱に「信のや 膳十人前入 文化十一年戌二月改之」の文字あり
7	屏風	1 隻	江戸～明治時代	一扇 谷文晁、二扇 小木曾文洲
8	扁額	1 面	明治 12 年(1879)	村瀬太乙書
9	扇面	1 面	明治 37 年(1904)頃	

備考 1. 森川家の屋号は、本家（西森）信濃屋は○の中に川でマル川、分家（北森）新信濃屋は△の下に川でヤマ川、明治期に新たに起こした家は、○の中に森でマル森と称したと思われる。

2. 展示品はすべて瑞浪市所蔵品である。

■関連イベント

市民講座「森川家と塩商いー大湫森川文書よりー」[6/14] …参加者 88 人

土雛まつり

会 期 R6.3.22[土]-4.20[日]

展示作品 約80点の土人形、雛人形

入 館 者 549人（R6年度（R7.3.22-3.30）の入館者は205人）

会 場 ホール



展示風景

※展示品の内、宮地志行作品は令和7年4月の寄贈品。



展示品（宮地志行作「桃太郎」）

■令和7年度 体験教室一覧

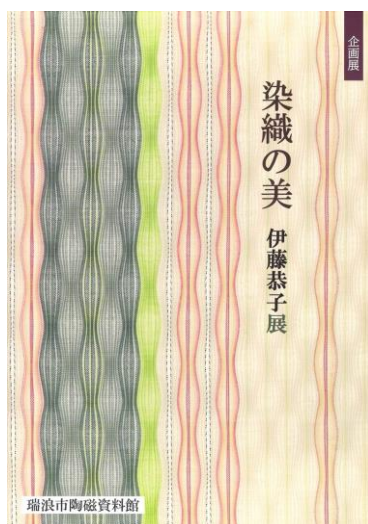
絵付け体験（開催日指定）							
コースター	コースター	プチオカリナ	オカリナ（小）	オカリナ（大）	マグカップ	風鈴	計
60	60	22	30	13	17	40	182 件
その他							
8/3	勾玉づくり						7 件
合 計							565 件

※令和6年5月1日～5日は、化石博物館開館50周年に伴う無料開放日

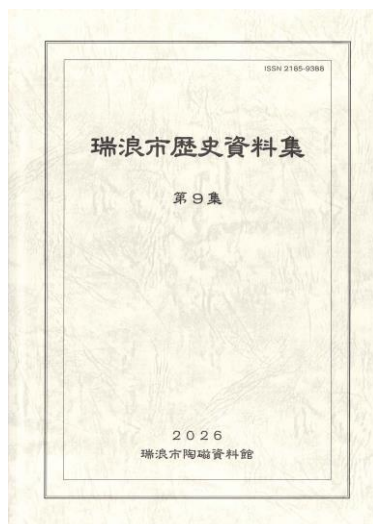
※令和7年度は「金属の鏡づくり」実施していない。

■令和7年度 刊行物

名 称	刊行冊数
図録『染織の美 伊藤恭子展』	300 冊
『瑞浪市歴史資料集』第9集	300 冊



染織の美 伊藤恭子展



歴史資料集 第9集

収蔵資料

■令和6年度 収集資料

[寄贈]

資料名称	員数	時代等	寄贈者	備考（寄贈日等）
伊賀耳付水指 外（伊村彰介制作品）	3点	昭和～平成時代	個人	R6.7.10
土人形	35点	明治～昭和時代	個人	R6.8.24
鉄釉徳利（壺屋焼）	1点	昭和時代	個人	R6.9.20
土人形	5点	大正～昭和時代	個人	R6.10.8、R6.10.11
染付煎茶碗、色絵急須 外	13点	明治～大正時代	個人	R6.10.8
祝部土器（紀元二千六百年奉祝紀元節用）	3点	昭和時代（15年）	個人	R6.10.12
『岐阜市史』 外（図書資料）	144冊	昭和～平成時代	瑞浪市民図書館	R6.12.15 移管
桔梗文鬼瓦（大草瓦か）	3点	明治時代	個人	R6.12.25
結納道具	1式	昭和～平成時代	個人	R6.12.25
土人形	16点	大正～昭和時代	個人	R7.1.28
土人形、図書資料	40点	明治～昭和時代	個人	R7.2.6
『雪だるま』 外（図書資料）	12部	昭和時代	個人	R7.2.6

[購入]

資料名称	員数	時代等	備考
（該当なし）	-	-	-

■令和6年度 収蔵資料の利用状況

[熟覧・貸出等]

資料名称	員数	対象施設・機関	目的（展覧会名等）	会期・期間
笹山遺跡出土品	10点	岐阜県博物館	熟覧（企画展に伴う資料調査）	R6.5.31
中切上屋遺跡、大島古墳群出土品 外	1式	陶小学校	貸出（授業教材）	R6.5.30-6.28
市内出土品（土器片・須恵器片）	14点	陶小学校	貸出（学芸員による出前授業）	R6.6.18
笹山遺跡出土品	10点	岐阜県博物館	貸出（企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史」）	R6.10.15-R7.1.31
志野山の絵水指（荒川豊蔵作）	1点	岐阜県現代陶芸美術館	貸出（「清流の国ぎふ」文化祭2024「生誕130年 荒川豊蔵展」）	R6.7.10-12.20
染付鉢 外（加藤孝造制作品）	18点	岐阜県現代陶芸美術館	貸出（「人間国宝 加藤孝造 追憶展」）	R6.10.10-R7.3.20

[画像資料等利用]

資料名称	員数	対象施設・機関	目的
色絵花文洋食器揃 外	3点	（一社）セラミックバレー協議会	画像利用（『The Book of Mino 美濃焼の解剖』/2026.11刊行予定）
白天目茶碗（鶴ヶ城跡出土品）	1点	多治見市文化財保護センター	画像利用（『多治見市文化財保護センター研究紀要』第17号）/2025.3発行
染付函館図皿（箱館焼）	1点	土岐市美濃陶磁歴史館	画像利用（令和7年度「学芸員と学ぶ講座」チラシ/講座におけるスライド利用）

■令和6年度 その他

実施内容	員数	備考
金属製遺物保存処理	4点	大島1号墳出土品（耳環〔銀環〕1点・鉄刀片3点）
収蔵庫環境測定	1式	空気質調査（有機酸・アンモニア）、浮遊カビ・付着カビ調査、文化財害虫生息調査

■令和7年度入館者数

【単位：人】

有料入館				無料入館				合計
個人		団体		個人		団体		
単独券	共通券	単独券	共通券	大人	小人	大人	小人	
694	308	0	0	3,823	1,195	22	166	6,208

※開館日数：235 日

※高校生以下は入館無料、20 名以上が団体扱い（大人・小人の混合も可）

※令和6年5月1日～5日は、化石博物館開館50周年に伴う無料開放日

※令和6年4月9日～4月26日は、企画展開催準備に伴う臨時休館

令和6年9月19日～10月11日は、特別展開催準備に伴う臨時休館

令和7年2月27日～3月21日は常設展示復旧、企画展開催準備に伴う臨時休館

■専門委員名簿（五十音順／任期：R7.4.1～R9.3.31）

青 木 本 吉（瑞 浪 市）	青 山 双 男（多治見市）	岩 島 利 幸（瑞 浪 市）
小 栗 寿賀子（瑞 浪 市）	河 合 竹 彦（土 岐 市）	河 野 典 夫（瑞 浪 市）
桃 井 勝（多治見市）	渡 邊 恒 光（瑞 浪 市）	

瑞浪市陶磁資料館年報 第 41 号

(令和 7 年度)

発行日	令和 8 年 9 月
編 集	瑞浪市陶磁資料館
・	〒509-6132
発 行	瑞浪市明世町山野内 1-6